

平成 23 年 3 月 14 日

富士山静岡空港指定管理者評価委員会の評価結果

(交通基盤部空港経営課)

1 要旨

富士山静岡空港の指定管理業務について、指定管理者による管理運営の状況を客観的に評価し、その結果を今後の管理運営に反映するため、富士山静岡空港指定管理者評価委員会を開催した。

この結果、合格ラインに達したとの評価となった。

2 概要

(1) 開催日・場所

平成 23 年 2 月 3 日(木)、静岡県庁別館 9 階 第 2 特別会議室

(2) 指定管理者名

富士山静岡空港株式会社

(3) 評価対象期間

平成 21 年 6 月 4 日から平成 22 年 3 月 31 日

(4) 評価方法

指定管理者が自己評価資料に基づき業務実施状況を報告し、評価委員と指定管理者の間で質疑応答した後、各委員による評価を基に、委員会としての評価結果をとりまとめ、講評した。

(5) 評価委員

(※敬称略、五十音順)

氏名	所属・役職
稲岡 研 士	全日本空輸株式会社 執行役員 名古屋支店長 中部地区担当
内 山 拓 郎	株式会社フジドリームエアラインズ 取締役副社長
奥 谷 禮 子	株式会社ザ・アール 代表取締役社長
金 森 慶 多	株式会社大韓航空 静岡支店長
黒 野 匡 彦	成田国際空港株式会社 取締役兼執行役員特別顧問
谷 口 博 昭	国土交通省顧問 芝浦工業大学大学院工学マネジメント研究科教授
野 口 冬 樹	税理士・経営コンサルタント
長谷川逸子	建築家(長谷川逸子・建築計画工房株式会社 代表取締役社長) 関東学院大学工学部建築科大学院客員教授
山 内 弘 隆	一橋大学大学院商学研究科教授

(6) 評価の基準

- ・ 評価項目として 16 項目を設定し、各々 5 段階で評価し、各評価委員の合計点の平均により評価する。

① 配点基準

評価区分	配点	内容
達成度が高かった。	5	業務仕様書・特記仕様書の指定していることに対する改善点があった。
達成度がやや高かった。	4	業務仕様書・特記仕様書のとおり実施したうえで、実務上不足している点を補足した。
おおむね達成できた。	3	業務仕様書・特記仕様書のとおり実施できた。
達成度がやや低かった。	2	空港運營業務に支障がでなかったが、業務仕様書・特記仕様書のとおり実施できなかった。
達成度が低かった。	1	業務仕様書・特記仕様書のとおり実施できず、空港運營業務に支障が出た。

② 合格ライン

合格ラインは、56点(合計80点の7割)とする。

(7) 評価結果

- ・ 委員による評価の合計点の平均は、64.7点となり、合格ラインに達した。
- ・ 富士山静岡空港株式会社は、空港の管理運営にあたり、空港の安全・安心を最優先として取り組まれ、開港初年度という特別な状況下において、航空機の運航に支障となるような問題も無く実施したことについては、指定管理者として所期の目的を概ね達成できていると評価できる。
- ・ 委員会での評価と自己評価の間には差異があり、民間ならではの創意工夫など、なお一層の努力の必要がある。

《項目別評価結果一覧》

項目	配点	自己評価点	評価点
I 設置目的等の達成度	15	14	11.7
空港の安全管理に対する取り組み	5	5	4.3
利用者の利便性に対する取り組み	5	4	3.8
民間ならではの創意工夫の発揮度合い	5	5	3.6
II 空港の管理運営状況	40	39	33.8
空港土木施設の維持管理業務の実施状況	5	5	4.3
飛行場灯火等の維持管理業務の実施状況	5	4	4.1
空港警備業務・鳥獣防除の実施状況	5	5	4.3
消火救難業務の実施状況	5	5	4.2
駐車場管理業務の実施状況	5	5	3.9
空港運用に係る支援業務の実施状況	5	5	4.4
航空機給油施設管理業務の実施状況	5	5	4.2
緊急事態発生時等の県との連携状況	5	5	4.2
III 管理に係る経費の縮減	5	5	3.3
経費縮減への取組（方法、創意工夫）	5	5	3.3
IV 管理・監督体制等	20	18	15.9
執行体制等	5	4	3.9
人的能力等	5	4	4.0
委託時の体制（指導監督体制など）	5	5	4.0
業務上知り得た情報の管理の体制、個人情報保護	5	5	4.0
合計	80	76	64.7

※ 評価点については、小数点第2位以下を四捨五入したため、合計と一致しない。

(8) 指定管理業務に関する各委員の意見

- 業務実施状況については、全体的に概ね良好であると考えている。
- 基準どおりに実施できていると思われる。
- 鳥獣防除、草刈業務について、航空会社の要望に対し柔軟に対応していることは評価できる。
- 滑走路等の草刈にあたって、社員を動員するなど工夫しており、評価できる。
- スタッフ（人材）を育てていることを評価したい。
- 1年目としては合格と思うが、全体的に利用者本位という姿勢に欠ける面が見受けられる。
- 更なる民間的発想の発揮、工夫を期待する。
- 安全管理を遂行するにあたって、特定の社員に頼ることが多すぎる気がする。現在は、便数が少ないため問題となっていないが、今後どう対応していくのが課題である。
- 収支決算の内容を明確にするべきである。
- 経費縮減への具体的な取組とその削減額が不明である。
- 人件費が安すぎるのではないか。人件費をきちんと支払うことで安全確保を目指すべきである。
- 委託先選定基準の明確化が必要である。
- 休日にターミナルビル前の横断歩道や駐車場入口に誘導員を配置することは、経費面から不要でないのか。
- 他空港に指定管理者制度の導入例がなく、評価しづらい。